

「守」へ平成28年も一直線に震災対策！

42.8%

川崎市議会において、「日

本国憲法の三原則のもと、

国会における憲法論議の推進と国民的議論の喚起を求め、緊急事態条項の新設は

必要です。30年以内の巨大地震発生確率は70%、南海トラフ地震の死者想定は32

万人、経済被害想定は250兆円、全壊・消失想定は239万棟といった内閣

府の想定データが公表された。「国民主権」「平和主義」、

「基本的人権の尊重」といった三原則を堅持し、我が国

をめぐる諸情勢、諸課題の変化に対応できるように



末永直 プロフィール

- 国立佐賀大学大学院 教育学研究科卒業
- 自民党参議院議員元秘書
- 昭和58年5月27日 32歳
- 政務活動事務所 〒211-0034 中原区井田中ノ町42-10 問合せ先 ☎044-789-5823

川崎市議会議員 末永直

キ等を所有者の同意なしに処理すれば財産権の侵害にあたるということで、各自

治会は対応に困ったそうです。財産権の問題で、国がガレキ処理を直接対応でき

る法的根拠がないからです。燃料の確保も十分ではありません。

震災発生後すぐには国や県と連携し、資を各避難所に輸送できま

せん。地震発生後すぐには国や県と連携し、資を各避難所に輸送できま

せん。地震発生後すぐには国や県と連携し、資を各避難所に輸送できま

せん。地震発生後すぐには国や県と連携し、資を各避難所に輸送できま

せん。地震発生後すぐには国や県と連携し、資を各避難所に輸送できま

せん。地震発生後すぐには国や県と連携し、資を各避難所に輸送できま

せん。地震発生後すぐには国や県と連携し、資を各避難所に輸送できま

などの目標が掲げられています。私は、「尊い市民の命がかかっており、本目標をなんとかして達成するよう

『川崎市国土強靱化地域計画(素案)』もふまえて、『かわさき強靱化』への対策をとっていただきたい」と強く要望しました。

さて、昨年の漢字一字は安心安全の「安」でした。市民区民の皆様の安心安全が本年も続くよう、私は本年のテーマ漢字一字を「守」

に定め、一直線に市政を推進して参ります。ご指導の程宜しくお願ひ致します。

すえなが直
新春市政報告会

平成28年
2月13日(土) 15時～

会場 川崎市国際交流センター

会費 3,000円